

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款:教育費 項:特別支援教育費 目:特別支援教育総務費

事業名 新 **特別支援学校スクール・サポート・スタッフ設置費**
(コロナ分)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会教職員課 高等学校係 電話番号:058-272-1111 (内 3529)

E-mail: c17766@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 17,528 千円 (前年度予算額:0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	諸収入	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	17,528	4,655	0	0	0	0	0	0	12,873
決定額	17,528	13,965	0	0	0	0	0	0	3,563

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナウイルス感染症については、令和2年5月14日に本県に対する国の緊急事態宣言が解除され、「学校における新型コロナウイルス感染症対応<学校再開ガイドライン>」に基づき、令和2年6月より学校の教育活動を再開している。しかし、学校再開後も予断を許さない状況にある。そのため、生徒の健康観察のとりまとめや、教室内の換気や消毒作業等の新型コロナウイルス感染症対策を着実に推進していくうえで必要な人的体制整備を支援する必要がある。

(2) 事業内容

- ・児童生徒の健康観察のとりまとめ作業
 - ・教室内の換気や消毒などの感染症対策 等
- 義務部(小・中学部)のある県立特別支援学校 19校
2時間/日×5日/週×35週×2人

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・国 1 / 3 県 2 / 3

(4) 類似事業の有無

- ・「高等学校等教師業務支援員設置費（コロナ分）」

県立学校（非義務部）で、各教室の消毒作業や、生徒の健康管理に関する業務を行う支援員を配置する。

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報酬	15,480	・ 1人当たり年間 350 時間（10 時間／週×35 週） 報酬 @1,130 円×350 時間×38 人 → 15,029 千円 地域手当 14,963 千円×0.03 → 451 千円
共済費	53	共済費（労災保険） 17,475 千円×(0.3)% → 53 千円
旅費	1,995	旅費 → 1,995 千円
合計	17,528	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル

～「学校の新しい生活様式」～

「大勢がよく手を触れる箇所（ドアノブ、手すり、スイッチなど）は 1 日に 1 回、水拭きした後、消毒液を浸した布巾やペーパータオルで拭きます。」

「スクール・サポート・スタッフや地域学校協働本部による支援等、地域の協力を得て実施することも考えられます。」

(2) 事業主体及びその妥当性

対象が県立学校であることから妥当

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・教職員が児童生徒の学びの保障に注力できるよう、消毒作業等の業務を担当し、教職員をサポートする人材を配置する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 <small>（前々年度末時点）</small>	目 標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

- ・新型コロナウイルス感染症への対応として実施するものであり、指標の設定になじまない。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	今後も新型コロナウイルス感染症の感染拡大の恐れがあり、教室内の換気や消毒作業等、感染防止対策を行う必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況に応じて業務内容を見直すなど、柔軟な対応が必要である。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況に応じて必要な措置を講じていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	<div style="text-align: right;">【○○課】</div>
--	---